

風疹に関する注意喚起

風疹が流行の兆しを見せているとして、平成 30 年 8 月 14 日に、厚生労働省から予防接種の徹底を呼びかける通知が出されました。特に、千葉県など関東地方を中心に急増しているようです。風疹は、咳やくしゃみを通じて感染します。罹患して 2-3 週間後に熱や発疹、リンパ節の腫脹などの症状で顕在化します。妊娠初期の女性が感染した場合、赤ちゃんにも感染して、先天性の心疾患、難聴、また白内障などを起こす危険性が報告されています。

今年の患者は男性が 7 割を占め、予防接種歴が低い 30-50 歳代の男性に多いことが指摘されています。自身の風疹の罹患歴や風疹ワクチンの接種歴を確認し、感染予防には十分注意してください。風疹に罹患したことがなく、かつ風疹ワクチンを 2 回接種していない（MR ワクチンは風疹ワクチンを含みますので、MR ワクチンの接種歴も 1 回とカウントされます）方の中で、特に関東地方からなど風疹が流行している地域から帰った後、2-3 週間後に熱や発疹等の症状がある場合は、医療機関に電話で相談をしてから受診してください。風疹の疑いとなった場合は、大学への登校や出勤は控え、保健管理センターに電話で指示を仰いでください。